

第2次
燕市男女共同参画推進プラン
推進状況報告書

平成28年度実施状況

平成29年3月

新潟県燕市

事業評価一覧

		基本目標・方針・施策	A	B	C	D	頁
基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり					
方針	1	男女共同参画の理解の推進					
施策	1	男女共同参画の啓発	4	1	0	0	2
施策	2	社会制度・慣行・しきたりの見直しの啓発	4	3	0	0	4
方針	2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進					
施策	1	幼稚園、保育園、学校などにおける男女平等教育の推進	1	4	0	0	6
施策	2	男女共同参画を理解するための学習機会の提供	3	1	0	0	8
基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり					
方針	1	あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画の推進					
施策	1	市の各種審議会等への女性参画の推進	0	2	0	0	10
施策	2	防災、被災時、災害復興時の女性参画の推進	1	1	0	0	11
施策	3	事業所、各種団体等における女性参画の推進	1	4	0	0	12
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進					
施策	1	地域における男女共同参画の推進	2	1	0	1	15
施策	2	家庭における男女共同参画の推進	2	3	0	0	17
方針	3	女性の就業環境の整備					
施策	1	農業や自営業における女性の就業環境の整備	0	5	0	0	20
施策	2	職場における女性の就業環境の整備	1	4	0	0	22
施策	3	女性の再就職と継続就業のための支援	4	3	0	0	24
基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり					
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備					
施策	1	男女がともに働きやすい労働環境の整備	1	4	0	0	27
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実	3	9	0	0	29
方針	2	生涯にわたる健康支援					
施策	1	男女への健康支援	10	1	0	1	36
施策	2	性差に応じた健康支援	4	0	0	0	41
方針	3	女性に対するあらゆる暴力の根絶					
施策	1	暴力の根絶に向けた意識啓発	1	1	0	0	44
施策	2	被害者の自立支援対策の推進	2	0	0	0	45
施策	3	相談体制の充実	2	2	0	0	46
計画の総合的な推進							
施策	1	推進体制の整備	2	0	0	0	48
施策	2	市民、事業所、各種団体、関係機関との連携協力	1	2	0	0	49
施策	3	市役所内における男女共同参画の推進	4	3	0	0	50
施策	4	計画の推進状況の調査と公表	0	1	0	0	54
計 【110事業】			53	55	0	2	

※評価について:評価は担当者による自己評価です。「企画・立案」、「実施」、「課題ニーズの把握」、「その他」の4つの項目に分け、どの項目において男女共同参画の視点を取り入れたか、その項目数で評価をしている。4～3はA、2～1はB、事業は行ったが視点を取り入れていない場合はC、事業未実施はD評価としている。

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	1	男女共同参画の理解の推進
施策	1	男女共同参画の啓発

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課						
	内容	事業費	評価ポイント								
1 広報媒体を利用して男女共同参画に関する情報を提供します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>広報つばめやHPを利用した啓発</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>・3ヶ月に1回広報に男女共同参画に関するコラムを掲載。 ・男女共同参画と「女性が輝くつばめプロジェクト」の特集を掲載(11月)。 ・ホームページを利用した情報提供。</p>	事業名	広報つばめやHPを利用した啓発	時期	通年	対象	市民	0	A ・性別による固定的な役割分担を表すような表現をしないように配慮した。 ・女性の相談窓口やハッピー・パートナー企業など様々な分野に関連した男女共同参画について掲載した。 ・男女共同参画について学ぶ機会として講演会やセミナーの情報を掲載した。	男女共同参画に関する情報提供により、固定的性別役割分担意識の解消と、男女共同参画の実現を目指す。	地域振興課
事業名	広報つばめやHPを利用した啓発										
時期	通年										
対象	市民										
2 男女共同参画に関する講座や講演会などを実施します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>つばめ「女と男」ふれ愛フェスタ</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>11月27日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>・男女共同参画の啓発事業。市民による実行委員の企画運営で実施した。 ・「イクメン講演会」講師:村上誠さん(NPO法人ファザーリング・ジャパン理事)、親子で参加できるワークショップなど、幅広い世代を対象に実施した。 ・燕・弥彦PTA連絡協議会と共催。 ■参加人数 約1,000人(男約400人・女約600人)</p>	事業名	つばめ「女と男」ふれ愛フェスタ	時期	11月27日	対象	市民	300	A ・実行委員会では男女が委員になり、フェスタの企画運営を行った。 ・大勢の方が来場しやすいよう休日に開催した。 ・来場者に男女共同参画についてのアンケートを行い、意識について男女別のデータを把握した。	男女共同参画の意識啓発を目的とした事業なので、様々なテーマで新たな来場者を増やしていく。	地域振興課
事業名	つばめ「女と男」ふれ愛フェスタ										
時期	11月27日										
対象	市民										
2 男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>地域セミナー(防災課と共催)</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>12月4日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>((公財)新潟県女性財団共催) 災害時の対応及び平時からの備えについて、講演と、グループ別にワークショップを実施。具体的な例を提示しながら、課題や今後取り組むべき事項について認識いただいた。 ■テーマ:男女双方の視点で家族と地域を守る ■講師:池田 恵子 さん(静岡大学教育学部 教授) ■参加人数 37人(男17人・女20人)</p>	事業名	地域セミナー(防災課と共催)	時期	12月4日	対象	市民	57	A ・まちづくり協議会や自治会に、女性の参加を働きかけた。 ・防災における男女双方の視点と女性の参画をテーマに実施した。 ・アンケートにより、男女別の感想・要望等を把握した。	固定的性別役割分担意識の解消や男女共同参画について啓発するため、性別や年齢を考慮したテーマで実施する。	地域振興課
事業名	地域セミナー(防災課と共催)										
時期	12月4日										
対象	市民										

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	1	男女共同参画の理解の推進
施策	1	男女共同参画の啓発

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	内容	事業費	評価ポイント			
2 男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名	若者自立支援推進講演会	0 (若者就労支援事業業務委託の委託料の範囲内で実施)	A ・講座タイトル・チラシ・ポスターにおいて性別による固定的な役割分担を表すような表現をしないよう配慮した。 ・参加しやすい日程を設定した。 ・アンケートにより男女別の感想・要望等を把握した。	男女共同参画における課題やニーズを反映した講座を開催する。	社会教育課
	時期	10月20日				
	対象	市民				
	働くことや社会と繋がることに不安を抱く若者とどのように接したら良いかを考え、子どもたちが自分の将来を自分らしく生きるために、親や家族としてどう支援できるのか考えるきっかけとするための講演会。 「子どもの心の声を聴く」 講師:七里佳代さん ■参加人数 30人 (男10人・女20人)					
3 各施設を通じて男女共同参画に関する情報を提供します	事業名	情報提供	0	B ・男女共同参画週間と「つばめ女と男ふれ愛フェスタ」で、県から男女共同参画推進に関するパネルを借用して啓発した。 ・男女共同参画に関連した情報を提供。	固定的性別役割分担意識の解消や男女共同参画について啓発するため、様々な機会にて情報を提供する。	地域振興課
	時期	通年				
	対象	市民				
	・庁舎内や各公共施設にポスターの掲示やチラシの配布を依頼。 ・男女共同参画週間(6月)に県の「男女共同参画フォトコンテスト」パネルを庁舎に展示。 ・つばめ女と男ふれ愛フェスタ(11月)で、県の男女共同参画推進に関するパネル及び燕市のハッピー・パートナー企業の紹介を展示。					

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	1	男女共同参画の理解の推進
施策	2	社会制度・慣行・しきたりの見直しの啓発

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課						
	内容	事業費	評価ポイント								
4 【再掲】 広報媒体を利用して男女共同参画に関する情報を提供します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>広報つばめやHPを利用した啓発</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>・3ヶ月に1回広報に男女共同参画に関するコラムを掲載。 ・男女共同参画と「女性が輝くつばめプロジェクト」の特集を掲載(11月)。 ・ホームページを利用した情報提供。</p>	事業名	広報つばめやHPを利用した啓発	時期	通年	対象	市民	0	A ・性別による固定的な役割分担を表すような表現をしないように配慮した。 ・女性の相談窓口やハッピー・パートナー企業など様々な分野に関連した男女共同参画について掲載した。 ・男女共同参画について学ぶ機会として講演会やセミナーの情報を掲載した。	男女共同参画に関する情報提供により、固定的性別役割分担意識の解消と、男女共同参画の実現を目指す。	地域振興課
事業名	広報つばめやHPを利用した啓発										
時期	通年										
対象	市民										
5 【再掲】 男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>つばめ「女と男」ふれ愛フェスタ</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>11月27日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>・男女共同参画の啓発事業。市民による実行委員の企画運営で実施した。 ・「イクメン講演会」講師:村上誠さん(NPO法人ファザーリング・ジャパン理事)、親子で参加できるワークショップなど、幅広い世代を対象に実施した。 ・燕・弥彦PTA連絡協議会と共催。 ■参加人数 約1,000人(男約400人・女約600人)</p>	事業名	つばめ「女と男」ふれ愛フェスタ	時期	11月27日	対象	市民	300	A ・実行委員会では男女が委員になり、フェスタの企画運営を行った。 ・大勢の方が来場しやすいよう休日に開催した。 ・来場者に男女共同参画についてのアンケートを行い、意識について男女別のデータを把握した。	男女共同参画の意識啓発を目的とした事業なので、様々なテーマで新たな来場者を増やしていく。	地域振興課
事業名	つばめ「女と男」ふれ愛フェスタ										
時期	11月27日										
対象	市民										
5 【再掲】 男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>地域セミナー(防災課と共催)</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>12月4日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>((公財)新潟県女性財団共催) 災害時の対応及び平時からの備えについて、講演と、グループ別にワークショップを実施。具体的な例を提示しながら、課題や今後取り組むべき事項について認識いただいた。 ■テーマ:男女双方の視点で家族と地域を守る ■講師:池田 恵子 さん(静岡大学教育学部 教授) ■参加人数 37人(男17人・女20人)</p>	事業名	地域セミナー(防災課と共催)	時期	12月4日	対象	市民	57	A ・まちづくり協議会や自治会に、女性の参加を働きかけた。 ・防災における男女双方の視点と女性の参画をテーマに実施した。 ・アンケートにより、男女別の感想・要望等を把握した。	固定的性別役割分担意識の解消や男女共同参画について啓発するため、性別や年齢を考慮したテーマで実施する。	地域振興課
事業名	地域セミナー(防災課と共催)										
時期	12月4日										
対象	市民										

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	1	男女共同参画の理解の推進
施策	2	社会制度・慣行・しきたりの見直しの啓発

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課						
	内容	事業費	評価ポイント								
5 【再掲】男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>若者自立支援推進講演会</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>10月20日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>働くことや社会と繋がることに不安を抱く若者とどのように接したら良いかを考え、子どもたちが自分の将来を自分らしく生きるために、親や家族としてどう支援できるのか考えるきっかけとするための講演会。 「子どもの心の声を聴く」 講師:七里佳代さん ■参加人数 30人 (男10人・女20人)</p>	事業名	若者自立支援推進講演会	時期	10月20日	対象	市民	0 (若者就労支援事業委託の委託料の範囲内で実施)	A ・講座タイトル・チラシ・ポスターにおいて性別による固定的な役割分担を表すような表現をしないよう配慮した。 ・参加しやすい日程を設定した。 ・アンケートにより男女別の感想・要望等を把握した。	男女共同参画における課題やニーズを反映した講座を開催する。	社会教育課
事業名	若者自立支援推進講演会										
時期	10月20日										
対象	市民										
6 【再掲】各施設を通じて男女共同参画に関する情報を提供します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>情報提供</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>・庁舎内や各公共施設にポスターの掲示やチラシの配布を依頼。 ・男女共同参画週間(6月)に県の「男女共同参画フォトコンテスト」パネルを庁舎に展示。 ・つばめ女と男ふれ愛フェスタ(11月)で、県の男女共同参画推進に関するパネル及び燕市のハッピー・パートナー企業の紹介を展示。</p>	事業名	情報提供	時期	通年	対象	市民	0	B ・男女共同参画週間と「つばめ女と男ふれ愛フェスタ」で、県から男女共同参画推進に関するパネルを借用して啓発した。 ・男女共同参画に関連した情報を提供。	固定的性別役割分担意識の解消や男女共同参画について啓発するため、様々な機会を提供する。	地域振興課
事業名	情報提供										
時期	通年										
対象	市民										
7 市の刊行物において、男女共同参画の視点を持った表現に努めます	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>刊行物への配慮</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市職員</td> </tr> </table> <p>各課において作成する広報、チラシ、ポスター、パンフレット、その他刊行物を作成する際に性別による役割分担意識に配慮しているかどうか留意する。</p>	事業名	刊行物への配慮	時期	通年	対象	市職員	0	B ・固定的性別役割分担意識を助長するような表現をしないように配慮した。	固定的性別役割分担意識を助長するような表現をしないように、マニュアル等の作成や周知が必要。	地域振興課
事業名	刊行物への配慮										
時期	通年										
対象	市職員										
8 男女共同参画に関する情報収集や調査を行います	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>アンケート実施</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>フェスタ来場者</td> </tr> </table> <p>つばめ女と男ふれ愛フェスタ(11月)来場者に、男女共同参画に関する意識調査を実施。</p>	事業名	アンケート実施	時期	通年	対象	フェスタ来場者	0	B ・調査項目を実行委員と検討した。 ・男女共同参画に関する意識調査を行い、男女別に集計した。	男女別や年齢別に集計し、男女共同参画に関する意識の把握と、男女共同参画を推進する施策の基礎資料とする。	地域振興課
事業名	アンケート実施										
時期	通年										
対象	フェスタ来場者										

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
施策	1	幼稚園、保育園、学校などにおける男女平等教育の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	内容	事業費	評価ポイント			
9 児童生徒に 対して人権 教育や男女 平等の性教 育等を指 導・推進し ます	事業名	児童生徒への人 権教育等の推進	0	B ・人権教育の一環とし て、男女共同参画を ひとつの柱としていく ことを確認した。 ・研修や授業の中で 男女共同参画の視点 を取り入れた。	大きな問題点等の報 告はない。意識が途 切れることのないよう 啓発活動を続けてい く。	学校教育課
	時 期	通年				
	対 象	児童生徒				
		・教職員研修講座の中で 人権教育を推進。 ・キャリア教育全体計画の 作成。 ・職場体験学習 ・情報交換会の設定 ・性教育計画の立案と授 業の実践。				
10 保護者や教 職員等に対 して男女共 同参画につ いて情報を 発信した り、研修を 行ったりし ます	事業名	男女共同参画に かかる情報発信 及び研修	0	B ・校長会、教頭会で男 女共同参画について 機会を捉えて啓発し たり触れたりするよう 指導した。 ・各学校で男女共同 参画を意識した取組 を実施した。	大きな問題点等の報 告はない。意識が途 切れることのないよう 啓発活動を続けてい く。	学校教育課
	時 期	通年				
	対 象	教職員、保護者				
		男女共同参画教育に関す る情報等を学校たより等 により保護者に発信。				
11 保護者や教 職員等が参 画しやすい 職場・学校 環境を整備 し、ミドル リーダー (主任クラ ス)の育成 をめざしま す	事業名	職場・学校環境 の整備とミドル リーダーの育成	0	A ・校長会、教頭会で性 別による分掌等での 役割の固定化がない よう指導した。 ・各学校での役職の 把握。 ・学校訪問等で学校 の現状の把握に努め た。	引き続き、管理職をと おして校内での役割 分担の適正化につい ての啓発を図る。	学校教育課
	時 期	通年				
	対 象	教職員				
		・ミドルリーダーの育成 ・参画しやすい職場環境と 学校運営の推進				
12 保育者や保 護者へ男女 共同参画に 関する情報 を提供しま す	事業名	職員研修	0	B ・個性を大切にした保 育園運営に取り組ん でいる。	性別にとらわれること なく、個性を大切に した保育に取り組むた め、今後も男女共同 参画の研修等が必要。	子育て支援課
	時 期	随時				
	対 象	職員(保育士)				
		研修に参加することによ り、性別にとらわれるこ となく、個性を大切に した保育のあり方を学 び、保育運営にいか している。				

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
施策	1	幼稚園、保育園、学校などにおける男女平等教育の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
13 男女ともに参画しやすい保護者会活動を推進します	事業名	保護者会・PTA 役員会	0	B ・運動会、夕涼み会等の保育園行事の役員を決める際、男性保護者に協力を呼びかけている。	子育て支援課
	時期	随時			
	対象	保育園・幼稚園の保護者			
	PTA役員や保護者会役員などに男女がバランスよく参画してもらえよう働きかけた。				

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
施策	2	男女共同参画を理解するための学習機会の提供

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
14 【再掲】男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名	つばめ「女と男」ふれ愛フェスタ	300	A ・実行委員会では男女が委員になり、フェスタの企画運営を行った。 ・大勢の方が来場しやすいよう休日に開催した。 ・来場者に男女共同参画についてのアンケートを行い、意識について男女別のデータを把握した。	男女共同参画の意識啓発を目的とした事業なので、様々なテーマで新たな来場者を増やしていく。
	時期	11月27日			
14 【再掲】男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	対象	市民	57	A ・まちづくり協議会や自治会に、女性の参加を働きかけた。 ・防災における男女双方の視点と女性の参画をテーマに実施した。 ・アンケートにより、男女別の感想・要望等を把握した。	地域振興課
	事業名	地域セミナー(防災課と共催)			
	時期	12月4日			
	対象	市民 ((公財)新潟県女性財団共催) 災害時の対応及び平時からの備えについて、講演と、グループ別にワークショップを実施。具体的な例を提示しながら、課題や今後取り組むべき事項について認識いただいた。 ■テーマ:男女双方の視点で家族と地域を守る ■講師:池田 恵子 さん(静岡大学教育学部 教授) ■参加人数 37人(男17人・女20人)			

基本目標	1	ともに考える 男女共同参画社会をめざす意識づくり
方針	2	男女共同参画の視点に立った教育・学習の推進
施策	2	男女共同参画を理解するための学習機会の提供

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
14 【再掲】男女共同参画に関する講座や講演会など実施します	事業名	若者自立支援推進講演会	0 (若者就労支援事業委託の委託料の範囲内で実施)	A ・講座タイトル・チラシ・ポスターにおいて性別による固定的な役割分担を表すような表現をしないよう配慮した。 ・参加しやすい日程を設定した。 ・アンケートにより男女別の感想・要望等を把握した。	男女共同参画における課題やニーズを反映した講座を開催する。
	時期	10月20日			
	対象	市民			
	働くことや社会と繋がることに不安を抱く若者とのように接したら良いかを考え、子どもたちが自分の将来を自分らしく生きるために、親や家族としてどう支援できるのか考えるきっかけとするための講演会。 「子どもの心の声を聴く」 講師:七里佳代さん ■参加人数 30人 (男10人・女20人)				
15 男女共同参画に関する図書を整備します	事業名	男女共同参画関連図書の紹介	0	B ・性別の違いによる課題やニーズなどについて、図書に偏りがないように配慮した。 ・老若男女、身近でさまざまな角度から男女共同参画の意識啓発につながるような図書を選定した。	市民に関心を持ってもらえるよう、今後も継続して実施する。
	時期	6月			
	対象	市民			
	・6月の男女共同参画週間に合わせて、広報6月1日号「Book Choice」欄で『ジェンダー』をテーマに図書を紹介した。 ・燕市内の図書館(今年度は分水図書館)展示コーナーで男女共同参画の意識啓発につながるような図書を展示・紹介した。				

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	1	あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画の推進
施策	1	市の各種審議会等への女性参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
16 市の各種審議会等への女性委員の登用を推進します	事業名	女性委員登用の推進	0	B ・指針に基づき、各課での女性委員の登用状況の把握に努め、全課で情報共有を図った。	男女共同参画推進プランの目標値を目指し、引き続き、指針に基づき、女性委員の登用について各課に働きかけていく。
	時期	随時			
	対象	委員			
	・附属機関については、「燕市附属機関等の設置、運営、公募及び公開に関する指針」に基づき、各課で女性委員の登用に努めた。 ・女性委員の登用状況が分かるよう、公職者台帳の更新と指針の適正な運用を依頼し、最新の登用状況を全課で情報共有することにより、女性委員の登用を促した。				
17 女性委員の登用状況を定期的に調査し、公表します	事業名	女性委員登用状況調査	0	B ・調査、公表を行うことにより女性委員登用を啓発することにつながる。	総務課と協力して、委員の改選の機会や、女性委員が0人の審議会等をなくすように担当課に働きかける。
	時期	7月			
	対象	職員			
	各種審議会等への女性委員登用の推進状況を7月に調査し、県及び審議会へ報告する。女性委員登用状況についてホームページで公表した。				

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	1	あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画の推進
施策	2	防災、被災時、災害復興時の女性参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課						
	内容	事業費	評価ポイント								
18 女性の人権尊重に配慮して地域防災計画を策定します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>女性の視点を取り入れた避難所運営</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>自主防災組織・自治会</td> </tr> </table> <p>・住民向けの「避難所運営マニュアル概要版」を作成し、自主防災組織・自治会に配布。 ・マニュアルでは、女性に配慮した避難所運営を心掛けるようポイント等を記載。</p>	事業名	女性の視点を取り入れた避難所運営	時期	通年	対象	自主防災組織・自治会	0	B ・女性の視点に立った内容となるようマニュアルに反映した。 ・他市町村で発生した避難所運営の教訓等を研究し、マニュアルに反映した。	燕市は被災経験もなく、長期間の避難所開設を行ったことがない。実際に避難所を開設した際、マニュアルのとおり運営できるよう訓練や研修を重ねる必要がある。	防災課
事業名	女性の視点を取り入れた避難所運営										
時期	通年										
対象	自主防災組織・自治会										
19 自主防災組織への女性の参画を働きかけます	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>男女共同参画講座（地域セミナー・地域振興課と共催）</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>12月4日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>自主防災組織・自治会</td> </tr> </table> <p>災害時の対応及び平時からの備えについて、講演と、グループ別にワークショップを実施。具体的な例を提示しながら、課題や今後取り組むべき事項について認識いただいた。 ■テーマ:男女双方の視点で家族と地域を守る ■講師:池田 恵子 さん(静岡大学教育学部 教授) ■参加人数 37人(男17人・女20人)</p>	事業名	男女共同参画講座（地域セミナー・地域振興課と共催）	時期	12月4日	対象	自主防災組織・自治会	57 (防災課の支出は0円)	A ・防災及び男女共同参画の研究者を講師として招聘した。 ・ワークショップは、男女が偏らないようグループ分けをした。 ・アンケートにより、男女別の感想・要望等を把握した。	「災害時の対応は公助が第一」という認識が未だに強く、男女共同参画はもとより、「自助・共助」の重要性を粘り強く啓発していく必要がある。	防災課
事業名	男女共同参画講座（地域セミナー・地域振興課と共催）										
時期	12月4日										
対象	自主防災組織・自治会										

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	1	あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画の推進
施策	3	事業所、各種団体等における女性参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
20 事業所などへ女性登用を働きかけます	事業名	事業所への女性登用の啓発	0	B ・リーフレット等により周知啓発に努めた。	関係機関等との連携を深め、効果的な周知啓発方法を検討する必要がある。
	時期	随時			
	対象	市内事業所			
	新潟労働局や県労政雇用課から送付されてきたポスターやリーフレット等を市関係各所窓口に設置したり、広報掲載することによって、企業や市民への周知に努めた。				
21 農業関係団体へ女性登用を働きかけます	事業名	燕市人・農地プランを更新するための検討会の実施	0	B ・女性農業者等の自らの経験、意見を取り入れる。 ・地域の抱える問題を男女の視点で捉え、情報共有を図った。	この検討会において、女性農業者等の自らの経験や、視点による意見を反映させることができるため、今後も引き続き検討会メンバーに3割以上の女性の登用を目指す。
	時期	随時			
	対象	女性農業者等、燕市農業再生協議会メンバー			
	燕市人・農地プランの継続的な話し合いと見直しを行いプランの更新をするため、検討会を実施。 (H29年1月) ■参加人数 19人 (男13人・女6人)				

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	1	あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画の推進
施策	3	事業所、各種団体等における女性参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
22 事業者や各種団体等における女性参画の啓発を行います	<p>事業名 女性が輝くつばめプロジェクト推進事業</p> <p>時期 通年</p> <p>対象 市内事業所、市職員</p> <p>●女性の活躍創造プロジェクトチーム「活動☆つばめこまち応援隊」 女性が仕事と家庭生活を両立できる働きやすい環境づくりを検討し、取り組み等を市へ提言する。 ■メンバー 9人 (企業6人・職員3人)</p> <p>●つばめ輝く女性表彰 様々な分野で輝いている女性個人、及び女性の活躍推進に積極的に取り組む企業や団体を表彰し、女性の活躍を推進する。 ・つばめ輝く女性賞:1名 ・つばめ輝く女性応援賞:1事業所 ・つばめ輝く女性功労賞:1団体</p> <p>・男性対象のワーク・ライフ・バランス講演会 (7月19日) ■参加人数 71人 (企業46人・職員25人) ・事業者対象のワーク・ライフ・バランス講演会 (11月4日) ■参加人数 57人 (企業31人・職員26人) ・女子会トーク (7月・8月・9月実施) ■参加人数 27人 (企業23人・職員4人) ・スキルアップ講座 (9月20日) ■参加人数 34人 (企業23人・職員11人) ・異業種交流男性研修会 (11月22日) ■参加人数 29人 (企業17人・職員12人) ・キャリアアップ研修会 (10月7日) ■参加者:活動☆つばめこまち応援隊 6人</p>	1,352	A	<p>事業者と協働により、男女ともにワーク・ライフ・バランスの推進や、女性活躍推進の実現に向け取り組む。</p> <p>・女性の活躍創造プロジェクトチーム「活動☆つばめこまち応援隊」を立ち上げ、女性の意識啓発やスキルアップ講座の企画等を検討した。 ・女性の活躍のモデルとなる、輝いている女性個人、及び女性の活躍推進に積極的に取り組む企業や団体を表彰し、周知した。 ・男女ともにワーク・ライフ・バランスの実現や、女性の活躍推進について啓発する内容とした。 ・市内企業の取り組み事例について講演会を実施した。 ・男性を対象に女性活躍推進について研修を実施した。 ・参加者アンケートを参考にニーズを把握した。</p>	地域振興課

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	1	あらゆる分野における政策・方針決定過程への女性参画の推進
施策	3	事業所、各種団体等における女性参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
23 ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）の登録を推進します	事業名	ハッピー・パートナー企業の登録推進	0	B ・県の担当者に同行して企業を訪問し、制度の説明をすることで男女共同参画の啓発につながる。 ・事業者対象講演会で、県の担当者から制度の説明をしてもらうことで啓発につながる。	男女がともに働きやすい職場環境に取り組む事業所を増やし、男女共同参画社会の実現を目指す。
	時期	通年			
	対象	市内企業、団体			
	・つばめ女と男ふれ愛フェスタ(11月)で、燕市のハッピー・パートナー企業の紹介を展示。 ・事業者対象講演会で、県の担当者がハッピー・パートナー企業の制度説明を行った。 ・県の担当者が登録推進のため企業を訪問する際に同行した。 ・女性雇用促進職場環境整備支援事業の助成事業所へ制度を周知した。 ■登録企業数 平成29年2月末現在36社 平成28年2月末現在34社				
23 ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）の登録を推進します	事業名	ハッピー・パートナー企業についての市内事業所への周知、啓発	0	B ・リーフレット等により、女性雇用促進職場環境整備支援事業の助成事業所へ制度を周知した。	関係機関等との連携を深め、効果的な周知啓発方法を検討するとともに、ハッピー・パートナー企業についての理解を深めていく必要がある。
	時期	随時			
	対象	市内事業所			
	県男女平等社会推進課によるリーフレット等を配布し、周知を行った。				

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進
施策	1	地域における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
24 自治会長や自治会役員に女性登用を働きかけます	事業名	自治会役員等地域組織への啓発	0	D	自治会活動の自主性を重んじており、人選等について行政からの指導は行っていない。引き続き、協議会の総会等で説明の機会を設けてみたい。
	時期	自治会総会開催時			
	対象	各自治会			
	自治会長は、自治会から推薦された方を市長が委嘱しているため、こちらから女性を推薦してとは言えない。また、自治会役員も総会で決定されており、自治会に任せている。				
25 まちづくり協議会の役員に女性登用を働きかけます	事業名	まちづくり協議会懇談会	0	B ・懇談会で地域の課題を地域で解決していくためには女性も含め多様な意見や力が必要である旨を話した。	まちづくり協議会の役員における女性の割合が少ないため、固定的性別役割分担意識の解消や男女共同参画について啓発する。
	時期	8月・2月			
	対象	まちづくり協議会			
	年に2回行うまちづくり協議会懇談会で、女性参画の働きかけを行った。				
26 地域活動における男女共同参画の啓発を行います	事業名	地域セミナー(防災課と共催)	57	A ・まちづくり協議会や自治会に、女性の参加を働きかけた。 ・防災における男女双方の視点と女性の参画をテーマに実施した。 ・アンケートで男女別の感想・要望等を把握した。	地域活動において男女双方の意見や参画が必要なため、固定的性別役割分担意識の解消や男女共同参画について啓発する。
	時期	12月4日			
	対象	市民			
	災害時の対応及び平時からの備えについて、講演と、グループ別にワークショップを実施。具体的な例を提示しながら、課題や今後取り組むべき事項について認識いただいた。 ■テーマ:男女双方の視点で家族と地域を守る ■講師:池田 恵子 さん(静岡大学教育学部 教授) ■参加人数 37人(男17人・女20人)				

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進
施策	1	地域における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	内容	事業費	評価ポイント			
27 団体活動の 情報収集と 活動支援を 行います	事業名	イキイキまちづ くり事業	60	A ・審査委員は男性3、 女性2人で構成し、男 女双方の意見を審査 に反映させている。 ・審査会においては 男女双方が発言しや すいような会議運営 に配慮した。 ・公開審査会は、仕 事をしている人が参 加しやすいように休 日や夜間に実施し た。	様々な分野において 男女共同参画を推進 するため、活動団体 の情報提供や活動を 支援する。	地域振興課
	時期	5月・8月・3月				
	対象	イキイキまちづ くり団体				
	・イキイキまちづくり事業 助成金の申請について、 審査委員が男女双方の 視点で審査を行った。 ・審査会と事業報告会を 公開することにより、活動 事例について情報交換や 交流を図った。 ■助成団体数 13団体(事業数13件)					

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進
施策	2	家庭における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課						
	内容	事業費	評価ポイント								
28 家庭に向けた男女共同参画の啓発を行います	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>つばめ「女」と「男」ふれ愛フェスタ</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>11月27日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>・市民による実行委員の企画運営で実施した。 ・「イクメン講演会」講師:村上誠さん(NPO法人ファザーリング・ジャパン理事)、親子で参加できるワークショップなど、幅広い世代を対象に実施した。 ・県の「男女共同参画フォトコンテスト」及び男女共同参画推進に関するパネルを展示した。 ■参加人数 約1,000人(男約400人・女約600人)</p>	事業名	つばめ「女」と「男」ふれ愛フェスタ	時期	11月27日	対象	市民	300	<p>A</p> <p>・実行委員会で、男性や親子で参加しやすい内容を検討した。 ・県から男女共同参画推進に関するパネルを借用して啓発した。 ・アンケートにより男女別の感想・要望等を把握した。</p>	<p>固定的性別役割分担意識の解消や男女共同参画について、身近なテーマで啓発する。</p>	地域振興課
事業名	つばめ「女」と「男」ふれ愛フェスタ										
時期	11月27日										
対象	市民										
29 家庭教育のための学習会を充実します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>家庭教育推進事業(家庭教育講座/食育推進講座)</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>燕市内の園児・児童・生徒とその保護者</td> </tr> </table> <p>【家庭教育推進講座】「心の燕市8つのチャレンジ」地域・家庭において定着させ推進するために、市内の幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校の保護者会やPTAが主催する家庭教育講座の謝礼金の一部を助成する。(助成金:1団体につき上限7,000円) ■助成団体 32団体(予定) 【食育推進講座】燕市内の園児・児童・生徒とその保護者を対象にして食育講座を2回実施。親子でコミュニケーションを図りながら、食の大切さや楽しさを学ぶ。 ■参加人数 ①2/11 ②3/18 ①親子7組17人(男1人・女16人) ②親子10組22人(男6人・女16人)</p>	事業名	家庭教育推進事業(家庭教育講座/食育推進講座)	時期	通年	対象	燕市内の園児・児童・生徒とその保護者	300	<p>B</p> <p>・講座タイトル・チラシ・ポスターにおいて性別による固定的な役割分担を表すような表現をしないよう配慮した。 ・参加しやすい日程を設定した。</p>	<p>男性の参加が少ないので、参加しやすいよう工夫に努めたい。</p>	社会教育課
事業名	家庭教育推進事業(家庭教育講座/食育推進講座)										
時期	通年										
対象	燕市内の園児・児童・生徒とその保護者										

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進
施策	2	家庭における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	内容	事業費	評価ポイント			
30 男性の家事参加や子育て参加を推進するための事業を実施します	事業名	ハッピーベビークラブ	51	A ・両親学級は夫が参加しやすいように、産業カレンダー休日の土曜日にできる限り実施。様々な体験(沐浴体験・妊婦体験・子育て中の夫婦の体験談)を通して家事・育児参加を考えるきっかけとなるよう企画。 ・両親学級において、すべての体験を夫婦で行った。妊娠中から、夫婦が協力して子育てをするイメージづくりができるよう、グループワークを実施。 ・両親学級は夫婦で参加する人がほとんど。他の夫婦との交流もあり、お互いよい刺激を受けている。教室終了後に参加者の感想を聞き、事業に反映させた。	男性参加者の増加。	健康づくり課
	時期	通年				
	対象	母子手帳の交付を受けた夫婦				
	ハッピーベビークラブ(妊婦学級8回/年・両親学級4回/年)を開催。母子健康手帳交付時、ハッピーベビークラブの周知及び両親学級への夫婦での参加勧奨。 ■参加人数 約251人(男122人・女129人)					
30 男性の家事参加や子育て参加を推進するための事業を実施します	事業名	児童館事業	0	B ・命の大切さを赤ちゃんとのふれあうことから若い世代に伝え、将来の父親からも体験してもらった。	男子生徒の参加者が極めて少ないことから、アプローチの手法について工夫をしているが、実績に結び付かない。	子育て支援課
	時期	随時				
	対象	乳幼児親子、小・中学生・高校生、地域の父兄				
	赤ちゃんとのふれあい交流会 小・中・高校生が赤ちゃんとの触れ合いを通して命の大切さを若い世代に伝えた。 ■参加人数 149人(男33人・女116人)					

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	2	地域・家庭における男女共同参画の推進
施策	2	家庭における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課						
	内容	事業費	評価ポイント								
30 男性の家事参加や子育て参加を推進するための事業を実施します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>男性の家事参加や子育て参加を推進するための事業を実施します。</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>燕市内の園児・児童・生徒とその保護者</td> </tr> </table> <p>【家庭教育推進講座】「心の燕市8つのチャレンジ」地域・家庭において定着させ推進するために、市内の幼稚園・保育園・こども園・小学校・中学校の保護者会やPTAが主催する家庭教育講座の謝礼金の一部を助成する。(助成金:1団体につき上限7,000円) ■助成団体 32団体(予定) 【食育推進講座】燕市内の園児・児童・生徒とその保護者を対象にして食育講座を2回実施。親子でコミュニケーションを図りながら、食の大切さや楽しさを学ぶ。 ■参加人数 ①2/11 ②3/18 ①親子7組17人(男1人・女16人) ②親子10組22人(男6人・女16人)</p>	事業名	男性の家事参加や子育て参加を推進するための事業を実施します。	時期	通年	対象	燕市内の園児・児童・生徒とその保護者	300	B ・講座タイトル・チラシ・ポスターにおいて性別による固定的な役割分担を表すような表現をしないよう配慮した。 ・参加しやすい日程を設定した。	男性の参加が少ないので、参加しやすいよう工夫に努めたい。	社会教育課
事業名	男性の家事参加や子育て参加を推進するための事業を実施します。										
時期	通年										
対象	燕市内の園児・児童・生徒とその保護者										

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	1	農業や自営業における女性の就業環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課						
	内容	事業費	評価ポイント								
31 自営業における女性の経営参画を啓発します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>自営業における女性の経営参画の啓発</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>関係機関</td> </tr> </table> <p>新潟労働局や県労政雇用課から送付されてきたポスターやリーフレット等を市関係各所窓口に設置したり、広報掲載することによって、企業や市民への周知に努めた。</p>	事業名	自営業における女性の経営参画の啓発	時期	随時	対象	関係機関	0	B ・リーフレット等により周知啓発に努めた。	関係機関等との連携を深め、効果的な周知啓発方法を検討する必要がある。	商工振興課
事業名	自営業における女性の経営参画の啓発										
時期	随時										
対象	関係機関										
32 家族経営協定締結の普及に努めます	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>家族経営協定の推進と労働条件向上についての啓発</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>女性農業者</td> </tr> </table> <p>・燕市農業委員会でを行っている家族協定の締結等事務について、同委員会と情報を共有しながら県などの関係機関との協議を図った。 ■現在の協定数 28組</p>	事業名	家族経営協定の推進と労働条件向上についての啓発	時期	随時	対象	女性農業者	0	B ・農業委員会において、「家族経営協定締結」による優遇措置が掲載された農業者が年金受給パンフレットを農家に回覧した。 ・家族経営協定のPRによる役割分担意識の拡大を図った。	家族経営協定の締結により、曖昧な農業就労時間や休日、給与等について女性農業者の立場の向上にもつながることから今後もPRを重ねることが必要と考える。	農政課
事業名	家族経営協定の推進と労働条件向上についての啓発										
時期	随時										
対象	女性農業者										
33 生産経営の担い手としての知識と技術を取得するための情報を提供します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>若手農業者ネットワーク支援事業、女性農業者活性化支援事業</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>若手農業者・女性農業者</td> </tr> </table> <p>・若手農業者の育成を図るため、農業者によるネットワーク化を推進し、安定した農業経営を目指す仲間づくりを支援する。 ・女性農業者を育成するため、女性の視点を活かした起業及び複合営農、農産物の付加価値向上等を目指す仲間づくりを支援する。 ・H28年6月、7月、8月、9月会議開催 ・表参道 新潟館 ネスパスで若手農業者の農産物を販売(10月) ・農業者販売促進セミナー(H29年2月) ■登録者数 45人(男22人・女23人)</p>	事業名	若手農業者ネットワーク支援事業、女性農業者活性化支援事業	時期	随時	対象	若手農業者・女性農業者	400	B ・若手・女性農業者の自らの経験、意見を取り入れた。 ・地域の抱える問題を男女の視点で捉え、情報共有を図った。	若手・女性農業者のネットワークづくりが必要。	農政課
事業名	若手農業者ネットワーク支援事業、女性農業者活性化支援事業										
時期	随時										
対象	若手農業者・女性農業者										

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	1	農業や自営業における女性の就業環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	内容	事業費	評価ポイント			
34 女性の起業のための支援をします	事業名	女性の起業のための支援	0	B ・性別に関わらず、熱意と意欲のある人が創業するための支援を行う「創業支援セミナー」、「きょうえい創業講座」を共催により実施した。	今後も起業のための機会の提供、起業後の継続的な支援が必要である。	商工振興課
	時期	随時				
	対象	市民				
	性別に関わらず、熱意と意欲のある人が創業するための支援を行う「創業支援セミナー」、「きょうえい創業講座」を共催により実施した。 ・創業支援セミナー (計3回開催。延べ人数) ■参加人数 73人 (男32人・女41人) ・きょうえい創業講座 ■参加人数 18人 (男9人・女9人)					
34 女性の起業のための支援をします	事業名	生産経営の担い手としての知識・技術を習得するための研修会の実施	0	B ・女性起業者を対象とし、経営に係る家族の協力体制を学ぶ。 ・経営参画による役割分担と、生産・加工に係る家族の協力体制を学び、経営体での情報共有を図る。	研修内容として、女性農業者が自らの経験や、興味をいただいているもの、及び家族の協力体制や役割分担に関する内容をより充実して、意義あるものとした。	農政課
	時期	随時				
	対象	女性農業者				
	・県主催の農村女性活動先進地視察研修会で女性農業者の経営参画と、6次産業化の推進を図る講習会を実施。(H29年3月) ■参加対象者数 19人 (男0人・女19人)					

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	2	職場における女性の就業環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	事業名	内容	事業費		
35 労働基準法、男女雇用機会均等法、その他関係法令を周知します	事業名	労働基準法、男女雇用機会均等法、その他関係法令の周知	0	B ・リーフレット等により周知啓発に努めた。	関係機関等との連携を深め、効果的な周知啓発方法を検討する必要がある。
	時期	随時			
	対象	市民			
	新潟労働局や県労政雇用課から送付されてきたポスターやリーフレット等を市関係各所窓口に設置したり、広報掲載することによって、企業や市民への周知に努めた。				
36 パートタイム労働（非正規雇用）条件向上のために関係法令を周知します	事業名	パートタイム労働法・労働者派遣法などの内容周知	0	B ・リーフレット等により周知啓発に努めた。	関係機関等との連携を深め、効果的な周知啓発方法を検討する必要がある。
	時期	随時			
	対象	市民			
	新潟労働局や県労政雇用課から送付されてきたポスターやリーフレット等を市関係各所窓口に設置したり、広報掲載することによって、企業や市民への周知に努めた。				
37 セクシュアル・ハラスメント防止を啓発します	事業名	セクシュアル・ハラスメント防止のための啓発	0	B ・リーフレット等により周知啓発に努めた。	関係機関等との連携を深め、効果的な周知啓発方法を検討する必要がある。
	時期	随時			
	対象	市内事業所			
	新潟労働局や県労政雇用課から送付されてきたポスターやリーフレット等を市関係各所窓口に設置したり、広報掲載することによって、企業や市民への周知に努めた。				

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	2	職場における女性の就業環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	事業名	内容	事業費		
38 セクシュアル・ハラスメントの相談窓口を周知します	事業名	セクシュアル・ハラスメントの相談窓口の周知	0	B ・リーフレット等により周知啓発に努めた。	関係機関等との連携を深め、効果的な周知啓発方法を検討する必要がある。
	時期	随時			
	対象	市内事業所			
	新潟労働局や県労政雇用課から送付されてきたポスターやリーフレット等を市関係各所窓口に設置したり、広報掲載することによって、企業や市民への周知に努めた。				
39 職場での健康管理体制を充実します	事業名	労働者の健康づくり応援事業	0	A ・健康課題を性別でも分析した。 ・個人の健康だけでなく、夫婦や家族ぐるみの健康づくり等のアドバイスを実施。 ・商工会の健診受診者なのでデータはないが、市の働き盛り年代のデータを参考にした。	短時間の中で、男女ともに健康づくりのために生活改善の動機付けとなるメッセージを伝えていく。
	時期	8月、11月			
	対象	吉田商工会会員 事業所従事者、 分水商工会会員 事業所従事者			
	商工会が実施する定期健康診断の会場で、受診者に生活習慣病やメンタルヘルスについての健康教育・相談を実施。 分水商工会館 8月19日 吉田産業会館 11月21日 ■参加人数 約122人				

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	3	女性の再就職と継続就業のための支援

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	内容	事業費	評価ポイント			
40 育児・介護休業法を周知します	事業名	育児・介護休業制度の普及と啓発	0	B ・リーフレット等により周知啓発に努めた。	関係機関等との連携を深め、効果的な周知啓発方法を検討する必要がある。	商工振興課
	時期	随時				
	対象	市内事業所				
	新潟労働局や県労政雇用課から送付されてきたポスターやリーフレット等を市関係各所窓口に設置したり、広報掲載することによって、企業や市民への周知に努めた。					
41 労働の場における母性保護を周知します	事業名	職場内における出産退職など差別的な慣行の是正と母性保護のため企業への広報と啓発活動の推進	0	B ・リーフレット等により周知啓発に努めた。	関係機関等との連携を深め、効果的な周知啓発方法を検討する必要がある。	商工振興課
	時期	随時				
	対象	市内事業所				
	新潟労働局や県労政雇用課から送付されてきたポスターやリーフレット等を市関係各所窓口に設置したり、広報掲載することによって、企業や市民への周知に努めた。					
42 再就職のための情報提供や支援をします	事業名	女性が輝くつばめプロジェクト推進事業	52 (地域振興課の支出は0円)	A ・家事・育児と仕事の両立について、企画に取り入れた。 ・就職活動のポイントや、保育サービスについて情報提供を行った。 ・再就職セミナー参加者にアンケートを実施して感想・要望を把握した。	関係機関等との連携を深め、仕事と育児を両立するための制度の周知や、職場環境等の整備、男性の働き方の見直し等について啓発する。	地域振興課
	時期	9月・1月				
	対象	市民				
	ハローワークと連携し、就職活動のポイントや保育サービスについて相談しながら再就職を前向きに考える、女性のための再就職セミナーを2回実施した。 ■参加人数 ・マザーズおしごと座談会(9月13日) 9人 ・マザーズおしごと相談会(1月24日) 8人 (商工振興課と共催)					

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	3	女性の再就職と継続就業のための支援

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	内容	事業費	評価ポイント			
42 再就職のための情報提供や支援をします	事業名	職業能力の開発・向上を図るための各種の講座情報、職業情報・資料等の収集・提供	52	A ・リーフレット等により周知啓発に努めた。 ・磨き屋一番館における研修生募集を通じ、専門的能力開発機会の創出に努めた。 ・再就職セミナー参加者にアンケートを実施して感想・要望を把握した。	関係機関等との連携を深め、効果的な周知啓発方法を検討する必要がある。	商工振興課
	時期	随時				
	対象	市民				
	<p>・新潟労働局や県労政雇用課から送付されてきたポスターやリーフレット等を市関係各所窓口に設置したり、広報掲載することによって、企業や市民への周知に努めた。</p> <p>・ハローワークと連携し、就職活動のポイントや保育サービスについて相談しながら再就職を前向きに考える、女性のための再就職セミナーを2回実施した。</p> <p>■参加人数 ・マザーズおしごと座談会(9月13日) 9人 ・マザーズおしごと相談会(1月24日) 8人 (地域振興課と共催)</p>					
42 就職・再就職のための情報提供や支援をします	事業名	女性雇用促進職場環境整備支援事業	10,000	A ・地域における女性の社会進出を促進するために必要な整備等について、事業所へヒアリング等により制度を検討した。 ・ハッピー・パートナー企業(新潟県男女共同参画推進企業)の周知を図り、登録を推進した。 ・交付決定事業所に女性雇用者状況や取り組み等のアンケートを実施した。	ハッピー・パートナー企業の周知を図り、男女共同参画を啓発する。	商工振興課
	時期	随時				
	対象	市内事業所				
	<p>女性が働きやすい職場環境を整備する事業者に整備費用を助成し、事業所の女性雇用の促進を図った。</p> <p>■助成事業所数 13社 (29年1月末現在)</p>					

基本目標	2	ともに参画する 男女共同参画の社会づくり
方針	3	女性の就業環境の整備
施策	3	女性の再就職と継続就業のための支援

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
43 職業能力を 開発するた めの情報提 供や支援を します	事業名	職業能力の開 発・向上を図る ための各種講座 情報、職業情 報・資料等の収 集・提供	0	B ・リーフレット等により 周知啓発に努めた。 ・磨き屋一番館にお ける研修生募集を通 じ、専門的能力開発 機会の創出に努め た。	関係機関等との連携 を深め、効果的な周 知啓発方法を検討す る必要がある。
	時期	随時			
	対象	市内事業所			
	新潟労働局や県労政雇 用課から送付されてきた ポスターやリーフレット等 を市関係各所窓口に設置 したり、広報掲載すること によって、企業や市民へ の周知に努めた。				
43 職業能力を 開発するた めの情報提 供や支援を します	事業名	ひとり親家庭の 生活の安定と自 立の支援	1,400	A ・母子家庭の母、父 子家庭の父を支援す る。 ・女性職員が相談室 で、相談面接に応じ るなど、相談しやすい 環境を整えた。 ・個々の内容を把握 管理した。	社会全体の仕組みの 中で、母子家庭等が 自立しやすい就業環 境を作り、経済面で の安定化を進める必 要がある。 事業の啓発に努め る。
	時期	通年			
	対象	母子家庭の母又 は父子家庭の父			
	母子家庭の母又は父子 家庭の父に対して、主 体的な能力開発を支援す るため、就業のための技能 や資格取得のための教育 訓練受講料の4/10の助 成、または就職の際に有 利である資格を取得す る時の生活費として、申請 するものに「高等職業訓 練促進給付金」月額10万 円を支給する。 ■人数 1人 (男0人・女1人)				

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	1	男女がともに働きやすい労働環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
44 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)について啓発 します	事業名	女性が輝くつば めプロジェクト 推進事業	450	A ・ワーク・ライフ・バ ランスの推進は男女双 方に有益であること 啓発するため、男性 及び事業者を対象に 実施した。 ・事業者がワーク・ラ イフ・バランスを推進 するため、市内企業 の取組事例を講演と パネルディスカショ ンで紹介した。 ・アンケートの結果か ら、男女ともに働き方 の見直しや、事業所 の経営戦略としての 効果について意識啓 発が図られた。	地域振興課
	時 期	通年			
	対 象	市民、事業者、 職員			
	<ul style="list-style-type: none"> ・男性対象のワーク・ライ フ・バランス講演会 (7月19日) ■参加人数 78人 (企業25人・職員53人) ・事業者対象のワーク・ラ イフ・バランス講演会 (11月4日) ■参加人数 60人 (企業26人・職員24人) ・燕市イクボス宣言 三役及び部・課長が組織 の管理職として、職員一 人ひとりがワーク・ライフ ・バランスを実現し、かつ働 き方改革に取り組む「イク ボス」を宣言し職場環境 の整備に努める。 				
44 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バ ランス)について啓発 します	事業名	ワーク・ライ フ・バランスに ついて情報提供	0	B ・リーフレット等により 周知啓発に努めた。	商工振興課
	時 期	随時			
	対 象	市民			
	新潟労働局や県労政雇 用課から送付されてきた ポスターやリーフレット等 を市関係各所窓口に設置 したり、広報掲載すること によって、企業や市民へ の周知に努めた。				

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	1	男女がともに働きやすい労働環境の整備

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
45 【再掲】 ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）の登録を推進します	事業名	ハッピー・パートナー企業の登録推進	0	B ・県の担当者に同行して企業を訪問し、制度の説明をすることで男女共同参画の啓発につながる。 ・事業者対象講演会で、県の担当者から制度の説明をしてもらうことで啓発につながる。	地域振興課
	時期	通年			
	対象	市内企業、団体			
	・つばめ女と男ふれ愛フェスタ(11月)で、燕市のハッピー・パートナー企業の紹介を展示。 ・事業者対象講演会で、県の担当者がハッピー・パートナー企業の制度説明を行った。 ・県の担当者が登録推進のため企業を訪問する際に同行した。 ・女性雇用促進職場環境整備支援事業の助成事業所へ制度を周知した。 ■登録企業数 平成29年2月末現在36社 平成28年2月末現在34社				
45 【再掲】 ハッピー・パートナー企業（新潟県男女共同参画推進企業）の登録を推進します	事業名	ハッピー・パートナー企業についての市内事業所への周知、啓発	0	B ・リーフレット等により、女性雇用促進職場環境整備支援事業の助成事業所へ制度を周知した。	商工振興課
	時期	随時			
	対象	市内事業所			
	県男女平等社会推進課によるリーフレット等を配布し、周知を行った。				
46 【再掲】育 児・介護休業法を周知 します	事業名	育児・介護休業制度の普及と啓発	0	B ・リーフレット等により周知啓発に努めた。	商工振興課
	時期	随時			
	対象	市内事業所			
	新潟労働局や県労政雇用課から送付されてきたポスターやリーフレット等を市関係各所窓口に設置したり、広報掲載することによって、企業や市民への周知に努めた。				

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課						
	内容	事業費	評価ポイント								
47 延長保育、早朝保育、乳児・未満時保育、障がい児保育、一時保育などの保育サービスを充実します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>延長・早朝・乳児・障がい児・一時・特定保育の充実</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>保育実施日</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>園児と保護者</td> </tr> </table> <p>保育を必要とする児童とその保護者を対象に実施。 ・延長… 午後4時～6時30分 公立15園・私立1園 6時45分 私立4園 7時 公立4園 8時 私立1園 ・早朝… 午前7時30分～8時 公立19園・私立1園、7時15分～私立4園 7時～私立1園 ・乳児… 生後2か月以上 公立9園・私立2園 生後5か月以上 私立2園 生後6か月以上 公立1園・私立2園 ・休日保育… 私立きららおひさま保育園1園 ・障がい児… 集団保育が可能であれば、加配保育士を付けて全園で受入可能 ・一時保育… 公立は大曲八王寺・あおい保育園の2園 私立は第二泉保育園・ぎんなん保育園・きららおひさま保育園の3園 ・特定保育… 公立西燕保育園1園</p>	事業名	延長・早朝・乳児・障がい児・一時・特定保育の充実	時期	保育実施日	対象	園児と保護者	80,094	B ・次の世代を生きる子どもたちが豊かに健やかに育つよう、多様な保育サービスを提供し、子育てをする保護者の支援をした。	核家族化や就業環境の変化などにより、保育ニーズが多様化してきている現在、更なるサービスが求められてくる。	子育て支援課
事業名	延長・早朝・乳児・障がい児・一時・特定保育の充実										
時期	保育実施日										
対象	園児と保護者										

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	内容	事業費	評価ポイント			
48 病児・病後児保育事業を充実します。	事業名	病児・病後児保育の実施	18,244	A ・子育てと仕事の両立を図ることができた。 ・病児保育室を利用する子どもの送迎をする保護者に対しては、男女に関わらず施設を利用しやすい環境づくりを心掛けた。 ・対象学年を小学校6年生まで拡大した。	男性の保護者への周知や施設利用への関わりを持つことができるよう、取り組みを検討する必要がある。	子育て支援課
	時期	通年				
	対象	生後6ヵ月～小学校6年生				
	病児保育室「あおぞら」で病児・病後保育事業を実施し子育てと仕事の両立を図る取り組みを行った。 ■利用人数 約750人					
49 児童の放課後の居場所を充実します	事業名	児童館・児童クラブ・なかまの会	211,337	B ・放課後に保護者のいない児童の健全育成と共働きの両親の就労支援を図った。 ・児童クラブの対象学年を小学校6年生まで拡大し、延長保育を実施した。	子育て現場への男性の積極的な参加を促す事業数を増やしたい。	子育て支援課
	時期	通年				
	対象	乳幼児・小学生・中学生・高校生				
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館 児童、乳幼児及び保護者等を対象に季節の事業や体験活動を実施し、地域の児童の健全育成を図った。(8館) ・児童クラブ 就業などにより、保護者が昼間家庭にいない小学校6年生までの放課後児童を午後7時00分まで預かり、適切な遊びの場と生活の場を提供した。(16ヶ所) ・なかまの会 午後6時00分まで小学校6年生までの放課後児童の居場所を提供した。(5ヶ所) 					

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
50 ファミリーサポートセンターを充実します	事業名	会員養成講座	60	B ・性別に関係なく受講できる内容の講座を企画した。保育の必要な子どもを連れた受講者のため、保育ルームを設けた。	会員数が減少傾向にあるので周知が必要。
	時期	9月から12月(年9回)			
	対象	ファミリーサポートセンター会員、ファミリーサポートセンターの活動に関心のある者			
	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い子育て支援ができるよう、ファミリーサポートセンター会員の募集と会員養成講座を開催した。 ・会員の資質向上を目的に、専門の知識を持った講師から普通救命講習や子どもの成長過程に合わせた対応方法などの講座を開催した。 <p>■参加人数 約101人(男1人・女100人) ※全9回終了時点</p>				
51 地域子育て支援拠点事業を充実します	事業名	子育て支援センター	581	A ・事業内容は性別に関係なく参加できる。 ・来館者や参加者に制限をつけていない。 ・両親、祖父母も参加できる内容で実施している。 ・保育ボランティアを頼み、講座に集中できる体制づくりをした。 ・燕こども園併設の子育て支援センターを開設した。	父親も参加しやすい企画を検討する。
	時期	通年			
	対象	児童及び保護者			
	<p>子育て支援センター…市内7か所に設置されている児童館や保育園併設及び単独の子育て支援センターで各種教室や講座等により、地域の子育て家庭に対し育児支援を実施。休日も開設している施設が増え、より男性が参加しやすい環境となった。</p> <p>■利用人数 40,910人 H28.4～H28.11(8か月間実績)</p>				

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
52 地域包括支援センターの運営を充実します	事業名	包括的支援事業	104,000	B ・第6期の介護保険計画に沿って行っている。多様なライフスタイルへの対応のため介護支援の充実を図った。	相談件数は増加、困難ケースも増加。包括職員のみでは解決できなくなっており、多職種で連携する包括ケア・ネットワーク構築に力を入れる必要がある。地域ケア会議に男女バランスよく参加してもらい、双方の意見をもらう。
	時期	通年			
	対象	65歳以上市民			
	<p>地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続できるようにするため日常的個別相談、支援困難者への指導・助言を行った。地域包括ケアの構築のため多様な専門職や地域の方々が参加する地域ケア会議などを実施した。</p> <p>■総合相談件数 約12,000件(見込み)</p> <p>■地域包括支援センター主催の地域ケア会議開催回数 24件(見込み)</p>				
53 介護保険サービスを充実します	事業名	介護サービス給付事業	7,962,310	B ・第6期の介護保険計画に沿って行っている。多様なライフスタイルへの対応のため介護支援の充実を図った。	高齢者数及び要介護認定者数は引き続き増加しており、介護保険給付費も増加を続けている。今後は特養待機者解消に加えて、在宅介護のニーズへの対応、地域で高齢者を支える地域づくりを進めることも必要。
	時期	通年			
	対象	40歳以上の要介護・要支援の認定を受けた方			
	<p>平成27年度から平成29年度まで第6期介護保険事業計画に基づき事業を行う。</p> <p>本年度は、地域密着型サービスの小規模多機能型居宅介護と認知症高齢者グループホーム9床の複合施設及び地域密着型特養29床を整備し、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、介護環境の整備を図った。</p> <p>■認定者人数 4,320人(男1,368人・女2,952人)</p> <p>平成28年11月末現在</p>				

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
54 家族介護者 交流事業を 充実します	事業名	在宅介護者リフ レッシュ事業	314	B ・在宅介護者同士の 仲間づくりや情報共 有・公間の場として実 施した。	参加者が固定化して きているため、新規 や男性参加者の増加 を図ることが課題。
	時期	通年			
	対象	要介護1以上の 方の在宅介護者			
	高齢者を在宅で介護して いる家族を介護から一時 的に解放し、心身の元気 回復を図るために、日帰 り旅行【7月開催:参加者 14人(男0人、女14人)、10 月開催:参加者10人(男0 人、女10人)】やランチ交 流会【3月開催:参加者13 人(男2人、女11人)】など の交流事業を実施。 (燕市社会福祉協議会に 委託) ■参加人数 37人 (男2人・女35人)				

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	内容	事業費	評価ポイント			
55 介護予防 サービスを 推進します	事業名	地域支援事業	9,990	A	男性だけの教室希望 の声が聞かれる。そ の声を実現できるよ う援助していく。	長寿福祉課
	時期	通年				
	対象	65歳以上市民				
	<p>要介護状態を予防するため、元気高齢者を対象にレインボー体操を普及している。具体的にはレインボー健康体操講演会・体験会、自主グループの育成、健康運動サポーター養成など。自主グループ数・登録人数増えているが、ほとんどが女性。介護予防運動に取り組む男性を増やすために、新たに「スクエアステップ」の普及に力を入れる。レインボー健康体操よりゲーム性があり、楽しく、男性にも好評。</p> <p>■男性限定のスクエアステップ体験会(分水地区)参加者 19名</p> <p>■いきいきつばめサポーター講座燕地区(西燕公民館)男性参加者11名</p> <p>■レインボー健康体操・自主グループ数 21 ・登録人数 496人(グループに男性は多くて5人。全員女性のグループも多い。)</p>					
56 在宅福祉 サービスを 充実します	事業名	在宅介護保険 サービス利用者 負担軽減事業	1,200	B	事業内容について、 さらに市民や事業所 への周知が必要。	長寿福祉課
	時期	通年				
	対象	要支援1から要 介護2までの認 定を受けている 者				
	<p>要支援1から要介護2までの認定を受けている人で対象要件に該当する人に、在宅の介護保険サービス自己負担額の3/10を軽減した。</p> <p>■対象人数 約23人(男5人・女18人) 12月末現在</p>					

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	1	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境の整備
施策	2	多様なライフスタイルに対応した子育て・介護支援の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	内容	事業費	評価ポイント			
56 在宅福祉サービスを充実します	事業名	在宅介護手当支給事業	74,411	B ・高齢者が住み慣れた地域の中で、健やかに快適な暮らしができるように、介護する家族に、介護者の精神的、経済的な負担の軽減を図るため、在宅介護手当を支給した。	事業内容について、市民や関係機関へのさらなる周知が必要。	長寿福祉課
	時期	8月、11月、2月、5月				
	対象	要介護3以上の認定を受けている在宅の者				
	在宅で要介護3以上の認定を受けている人を介護する家族に、介護者の精神的、経済的な負担の軽減を図るため、在宅介護手当を支給した。 ■対象人数 約700人					
57 ひとり親家庭等の医療費を助成します	事業名	ひとり親医療費助成の充実	38,939	B ・母子家庭、父子家庭とも対象になっている。 ・ひとり親家庭の父、母及び児童等に医療費の自己負担額から一部負担金を除いた額を助成し、ひとり親家庭等の保健の向上と福祉の増進を図る事を目的としている。		保険年金課
	時期	随時				
	対象	母子又は父子家庭、配偶者等によるDV被害がある家庭、両親が児童を監護できない養育家庭及び児童を監護する父母のいずれかに重い障害がある家庭				
	母子・父子家庭等からの申請により受給資格を審査し、受給者証を交付する。 受給者は受診した医療機関で医療費の一定額を負担し、それ以上の医療費を助成する。 該当者への勧奨案内や広報誌により制度の周知を図る。 ■受給者数(平成28年度更新時) ・親645人 ・児童919人 ・養育者(祖父母)10人 合計 1,564人 (親の内、父48人・母587人)					

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	1	男女の健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課								
	内容	事業費	評価ポイント										
58 リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて啓発します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">未実施</td> </tr> </table>	事業名		時期		対象		未実施		0	D	広報つばめのコラムやリプロダクティブ・ヘルス/ライツをテーマにした講座の実施などにより啓発を図る。	地域振興課
事業名													
時期													
対象													
未実施													
58 リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて啓発します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>助産師訪問や両親学級において家族計画指導を実施</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>妊産婦とその夫</td> </tr> <tr> <td colspan="2">助産師の訪問時や妊婦学級・両親学級において、安全な出産についての指導や産後の家族計画指導の一環として実施。</td> </tr> </table>	事業名	助産師訪問や両親学級において家族計画指導を実施	時期	通年	対象	妊産婦とその夫	助産師の訪問時や妊婦学級・両親学級において、安全な出産についての指導や産後の家族計画指導の一環として実施。		2,751	A ・性別の違いにより生じる課題やニーズを事業や計画に反映した。 ・夫と妻の両方の意見を聞くように配慮。夫婦で子育ての意識付けを心がけた。 ・妻・夫の意見を把握。	訪問・教室の場面で必ず夫婦そろっているわけではないので、妻のみに指導することが多くなっている。	健康づくり課
事業名	助産師訪問や両親学級において家族計画指導を実施												
時期	通年												
対象	妊産婦とその夫												
助産師の訪問時や妊婦学級・両親学級において、安全な出産についての指導や産後の家族計画指導の一環として実施。													
59 ライフステージに応じた健康相談、健康診査を充実します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>19歳からの健診実施</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>5月～6月</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>19歳～39歳</td> </tr> <tr> <td colspan="2">健康への意識を高め、健康の維持増進の機会とするため、健康診査を19歳から39歳の青年層に対して実施した。 ■参加人数 約840人 (男236人・女604人)</td> </tr> </table>	事業名	19歳からの健診実施	時期	5月～6月	対象	19歳～39歳	健康への意識を高め、健康の維持増進の機会とするため、健康診査を19歳から39歳の青年層に対して実施した。 ■参加人数 約840人 (男236人・女604人)		6,062	A ・男女の意見を取り入れ企画している。 ・プライバシーの保護に配慮した。 ・土日でも受診できるよう配慮した。 ・子ども連れでも受診しやすい配慮をした。 ・健診データや生活習慣について男女別に集計した。	職場等でも健診を受けられる機会のない人たちのため、今後も健康診査を継続する。	健康づくり課
事業名	19歳からの健診実施												
時期	5月～6月												
対象	19歳～39歳												
健康への意識を高め、健康の維持増進の機会とするため、健康診査を19歳から39歳の青年層に対して実施した。 ■参加人数 約840人 (男236人・女604人)													
59 ライフステージに応じた健康相談、健康診査を充実します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>各ライフステージにおける健診内容の充実</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>児童・生徒・教職員</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒及び教職員等の定期健康診断及び就学時健康診断 ・尿検査、ぎょう虫検査、血液(貧血)検査 ・歯科衛生士による歯周病予防指導 ・手洗い教室の実施 ■参加人数 約延10,000人 </td> </tr> </table>	事業名	各ライフステージにおける健診内容の充実	時期	通年	対象	児童・生徒・教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒及び教職員等の定期健康診断及び就学時健康診断 ・尿検査、ぎょう虫検査、血液(貧血)検査 ・歯科衛生士による歯周病予防指導 ・手洗い教室の実施 ■参加人数 約延10,000人		2,200	A ・全ての児童・生徒・教職員を対象に計画、立案した。 ・健診時において男女を分けて実施する等配慮した。 ・児童生徒について男女別にデータを集計し、性別の違いによる課題を把握するよう努めた。 ・歯周病予防指導、手洗い教室を実施し、健康について自己管理ができるよう努めた。	今後も性別の違いによる課題を把握し、健康診査を実施する。	学校教育課
事業名	各ライフステージにおける健診内容の充実												
時期	通年												
対象	児童・生徒・教職員												
<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒及び教職員等の定期健康診断及び就学時健康診断 ・尿検査、ぎょう虫検査、血液(貧血)検査 ・歯科衛生士による歯周病予防指導 ・手洗い教室の実施 ■参加人数 約延10,000人													

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	1	男女の健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
59 ライフステージに応じた健康相談、健康診査を充実します	事業名	保育園・幼稚園児の健康診断	4,933	B ・内科・歯科健診を実施することにより、保護者が安心して預けられる環境を整備し就労支援に繋げる。	今後も保護者が安心して預けられるように、健康診査を実施する。
	時期	春・秋の2回(保育園)、春1回(幼稚園)			
	対象	園児			
		・保育園児を対象に、春と秋の2回、医師による内科健診および歯科健診を実施。 ・幼稚園児を対象に、春に1回医師による内科健診および歯科健診を実施。			
60 男女ともにいきいきと生活が送れるように元気増進対策を増進します	事業名	燕市健康増進計画実践プロジェクトの活性化や地区組織の活用、各種イベントにおいてポピュレーションアプローチを実施	20	A ・男女の意見を取り入れて企画した。 ・男性の参加を促すため、男性が主に運営するプロジェクトの立ち上げとイベントを開催している。 ・アンケートを取り男女比を比較した。	各イベントでは女性の比率が高いため、今後も男性に向けての啓発と参加しやすい事業を実施する。
	時期	通年			
	対象	市民			
		健康増進計画実践プロジェクト「元気磨きたい」は、平成28年度においては、テーマ別プロジェクト16、登録プロジェクト14で活動をスタート。市民祭への参加や200mいちびへの出店の他、つばめ「女と男」ふれ愛フェスタでは参加体験型健康ブースを開設。燕歯科医師会主催の歯科フェアでは地区組織と共に健康づくり活動を展開した。さらに、元気まつりにおいては地区組織が加わり実行委員会方式でメンバー主体の企画運営を実施した。			

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	1	男女の健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課						
	内容	事業費	評価ポイント								
61 食育を推進 します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>燕市食育推進計画の推進</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>市民</td> </tr> </table> <p>燕市食育推進計画を平成24年3月に策定し、現在実務者会議および食育推進プロジェクト会議を開催した。また、平成29年度からの第2次燕市食育推進計画策定に向け、検討委員会立ち上げ、計画を検討した。基本理念のもと4つの基本目標を柱に、保育園等や小・中学校をはじめ、地域で様々な食育活動や普及啓発のイベント活動に取り組んだ。</p>	事業名	燕市食育推進計画の推進	時期	通年	対象	市民	1,268	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内プロジェクトや健康づくり推進委員会で男女の意見を取り入れた。 ・男女共同参画の内容が計画に含まれており、性別に関係なく誰もが参加できる機会や男性のための教室を開催。 ・啓発普及や環境・産業などかなり広範囲のため、参加者や委員の声から男女の意見を把握。 	<p>男性の視点、女性の視点を持ち、より良い推進ができるよう、今後も食育および会議を進めていく。</p>	健康づくり課
事業名	燕市食育推進計画の推進										
時期	通年										
対象	市民										
61 食育を推進 します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>食育推進（情報誌の発行）</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>小学生、中学生、保護者</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・燕市「食の指導プランつばめ」に従った食育を推進した。 ・「給食・食育だより」の発行による児童生徒、家庭、地域への食育の情報発信。 	事業名	食育推進（情報誌の発行）	時期	通年	対象	小学生、中学生、保護者	0	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女の別なく、全ての児童生徒が生涯にわたって身に付けて欲しい内容で指導した。 ・食に関する習熟度の確認は、性別でなく年齢別で計画するため、男女共同の視点で実施した。 ・学校では男女の別なく実施した。 	<p>男女の別なく、全ての児童生徒と保護者に食育の情報を提供し、男女共同参画を推進する。</p>	学校教育課
事業名	食育推進（情報誌の発行）										
時期	通年										
対象	小学生、中学生、保護者										

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	1	男女の健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
61 食育を推進 します	事業名	キッズ健康講座	15	A ・保護者会と保育園 が相談して来園しや すい日を決めた。 ・「保護者」とし「性別」 を示さなかった。 ・保育園で、父母、祖 父母と男女別を把握 した。	男性の参加者を増や すため、産業カレン ダールの休日に開催す るなど実施日の設定 を検討していく。
	時期	10月27日			
	対象	小池保育園 全 園児及びその保 護者			
	<ul style="list-style-type: none"> ・食育年間計画、保育年 間計画に基づいた食育の 推進、講演会による家 庭、地域への啓発を図 る。 ・幼児期の食事について 保護者に講演。親子でお にぎり作り体験。保育園 給食の試食。 ■参加人数 約161人 (男20人・女141人) 				
62 心の健康づ くりを推進 します	事業名	自殺対策事業の 実施	494	A ・男女の健康課題の 違いを反映させた。 ・こころの健康講座の グループワークでは 男女一緒に実施し た。 ・健診時のアンケート では性別で集計、課 題分析を行った。	自殺の実態把握・分 析を行い、地域で気 づき・見守り・支援で きる人材を増やし、予 防の普及啓発を行っ ていく。
	時期	通年			
	対象	市民			
	<p>健診時にアンケートを実施し、実態把握及びハイリスク者への個別支援を実施。</p> <p>相談としては保健師によるこころ健康相談回を各地区で実施(参加者27人)、随時来所、訪問、電話相談を実施。</p> <p>こころの健康づくりの啓発普及としては9月～1月にこころの健康講座(4回コース)・9月の防災救急フェアや、胃がん・乳がん・子宮がん検診等でパンフレットの配布やのぼり旗の掲示、地域での健康教育を実施。</p> <p>人材育成としてはゲートキーパー研修会を開催(一般向け2回、市職員向け1回、専門職向け1回、教職員向け1回)。</p> <p>年1回燕市自殺対策連絡検討会を開催し、事業の評価や今後について協議した。</p>				

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	1	男女の健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	内容	事業費	評価ポイント			
63 スポーツを通じた健康づくりを推進します	事業名	健康づくり教室	122	A ・誰でも参加できる ニュースポーツを取り入れ、広報つばめなどの募集に努めた。 ・仕事や家事が終わってからでも参加しやすいように、開催時間を午後7時30分からとした。 ・出席簿を作成し、毎回参加者から記入してもらい開催ごとの参加状況を把握。	全体的に50～70歳代の参加が多い。年齢、性別問わず誰でも参加できるニュースポーツを取り入れているため、30～40歳代の男女の参加も増やしていきたい。	社会教育課
	時期	5月上旬～11月上旬				
	対象	市民(運動が苦手な人、働き盛りの中高年など)				
	(前期10回、後期10回) ・燕市体育センター 毎週木曜日 PM7:30～9:20 参加者数:前期26人、後期25人 ・スポーツランド燕 毎週火曜日 PM7:30～9:20 参加者数:前期13人、後期17人 ・吉田総合体育館 毎週水曜日 PM7:30～9:20 参加者数:前期16人、後期16人 ・分水総合体育館 毎週水曜日 PM7:30～9:20 参加者数:前期6人、後期7人 ■参加人数 前期 58人 (男 17人・女 41人) 後期 62人 (男 14人・女 48人)					
63 スポーツを通じた健康づくりを推進します	事業名	高齢者健康づくりのつどい	10	A ・社会福祉協議会および燕市老人クラブ連合会と連携を図りながら女性・高齢者の参加募集に努めた。 ・女性や高齢者が参加しやすいよう手軽に行うことが出来る運動内容での事業開催に努めた。 ・高齢者健康づくりの会の入会者情報をいただき、男女比等を把握した。	参加者数の横ばい状況、運動内容のマンネリ化など事業内容の改善が必要である。	社会教育課
	時期	6月20日				
	対象	市内在住50歳以上の方				
	・実技 モーニングストレッチ体操、いきいきクラブ体操、健康ウォーキング 講師 斎藤友子 先生 ・実技・講義 『高齢者向け体幹トレーニング』 講師 千葉 篤 先生 ■参加人数 約100人					

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	2	性差に応じた健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	内容	事業費	評価ポイント			
64 女性特有の 疾病に対応 する検診機 会を充実し ます	事業名	乳がん・子宮がん検診の年齢・回数 の拡充及び骨粗しょう症検診の 毎年実施	63,240	A ・女性の健康課題やニーズについて把握し、企画に反映させた。 ・集団検診では女性職員が従事した。土日や医療機関検診の実施により受診しやすいよう配慮した。 ・検診データを集計・分析した。	今後も女性の健康課題等の把握に努め、検診体制や指導の充実を図っていく。	健康づくり課
	時期	6月～11月				
	対象	検診の対象年齢に該当する女性				
	<p>子宮がん検診:20歳以上に集団検診・施設検診を実施し、隔年ではなく毎年受診が可能。 乳がん検診:施設検診(視触診検診)を30～39歳及び41歳からの奇数年齢に実施。集団検診(マンモグラフィ検診)を40歳以上偶数年齢に実施。 骨粗しょう検診:集団検診を20歳～70歳に実施しており、節目年齢以外でも受診できる。 ※県のガイドラインで示されている対象・内容より拡大して実施した。</p> <p>■人数 13,193人 (男0人・女13,193人) ※各々の検診受診者の合計人数</p>					
65 妊娠・出産 における健 康支援をし ます	事業名	母子手帳交付時に妊婦一般健康診査受診指導の実施	0	A ・妊娠・出産についての課題についての指導も取り入れて実施。 ・未婚の母や若年妊娠については可能な限りプライバシーに配慮し、交付時に指導。 ・妊婦健診の結果を把握し、指導に活かしている。	妊娠期ほぼ全ての健診の助成が可能なため、今後も継続していく。	健康づくり課
	時期	通年				
	対象	母子手帳交付申請者				
	<p>母健康子手帳交付時に、妊婦一般健康診査(14回)及び子宮頸がん検診の助成について説明をし、受診指導を実施した。平成27年度4月より「育み相談コーナー」が設置され、保健師が指導に携わっていることで、より本人の状況に合わせて指導を実施した。</p>					

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	2	性差に応じた健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課						
	内容	事業費	評価ポイント								
66 子宮頸がんワクチンの助成をします	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>子宮頸がんワクチンの接種費用補助および接種勧奨</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td></td> </tr> </table> <p>平成25年4月1日、予防接種法に基づく定期接種に移行したため、ワクチンの接種費用助成事業は終了した。 その後、子宮頸がんワクチン接種後の副反応報告について厚生労働省で協議した結果、平成25年6月14日からは積極的な接種勧奨を差し控えることになった。 接種を希望する人へは定期接種として実施している(自己負担無し)。</p>	事業名	子宮頸がんワクチンの接種費用補助および接種勧奨	時期		対象		0	— — — —		健康づくり課
事業名	子宮頸がんワクチンの接種費用補助および接種勧奨										
時期											
対象											
67 不妊に関する相談、支援をします	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>特定不妊治療費助成事業</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>県の補助制度利用者</td> </tr> </table> <p>・新潟県不妊に悩む方への特定支援事業を申請し助成の承認を受けた人に、新潟県知事が指定した医療機関で行う体外受精及び顕微授精に要した費用について、県の助成額を控除した額の2分の1を補助する。助成期間・年度あたりの回数制限はない。通算助成回数は治療開始時点での妻の年齢が40歳未満の場合は6回、40歳以上の場合は3回を上限とする。</p> <p>■助成件数 45件 ※H29年2月末現在</p> <p>・不妊治療普及啓発のため、3月4日(土)に妊活応援セミナーを実施。</p> <p>■参加人数 17人 (男 3人・女14人)</p>	事業名	特定不妊治療費助成事業	時期	通年	対象	県の補助制度利用者	1,950 ※2月 末現在	A ・男女の意見を取り入れている。 ・プライバシーの保護に努めている。 ・治療の結果、妊娠できた人、出産した人を確認している。 ・早期受診のきっかけになった。	今後も新潟県と連携し継続実施する。一般不妊治療に対する助成についても今後検討していく。妊活応援セミナーの男性の参加者を増やす工夫が必要。	健康づくり課
事業名	特定不妊治療費助成事業										
時期	通年										
対象	県の補助制度利用者										

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	2	生涯にわたる健康支援
施策	2	性差に応じた健康支援

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	事業名	内容	事業費			評価ポイント
68 男性特有の 疾病に対す る検診機会 を充実しま す	事業名	前立腺がん検診 の実施	4,960	A ・男性の健康課題や ニーズについて把握 し、企画に反映させ た。 ・会場設営を工夫し、 スムーズに受診でき るよう配慮した。 ・検診結果の把握を した。	受診率向上に向け取 り組む。	健康づくり課
	時期	9月～10月				
	対象	50歳以上の男性				
	世帯調査票を配付し検診 希望を把握して、申込者 に受診票を送付した。 受診票送付後や検診当 日の申し込みも受け付 け、検診を実施した。 血液検査による前立腺特 異抗原抗体検査を実施し た。					
	■参加人数 1,933人 (男1,933人・女0人)					

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	3	女性に対するあらゆる暴力の根絶
施策	1	暴力根絶に向けた意識啓発

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
69 ドメスティック・バイオレンス防止を啓発します	事業名	ドメスティック・バイオレンス防止啓発	0	A ・男性とは異なる女性ならではの問題を相談できる窓口設置の周知をした。 ・家庭児童相談員が相談室において、相談面接に応じるなど、女性が相談しやすい環境づくりに配慮した。 ・個人別に相談記録を管理した。	女性及び男性に対しても相談窓口の周知が必要である。
	時期	通年			
	対象	市民			
	DV相談窓口の開設を毎月広報で周知した。 ■相談人数 5人 (男0人・女5人) ※H29年2月末現在				
70 【再掲】セクシュアル・ハラスメント防止を啓発します	事業名	セクシュアル・ハラスメント防止のための啓発	0	B ・リーフレット等により周知啓発に努めた。	関係機関等との連携を深め、効果的な周知啓発方法を検討する必要がある。
	時期	随時			
	対象	市内事業所			
	新潟労働局や県労政雇用課から送付されてきたポスターやリーフレット等を市関係各所窓口に設置したり、広報掲載することによって、企業や市民への周知に努めた。				

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	3	女性に対するあらゆる暴力の根絶
施策	2	被害者の自立支援対策の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
71 児童虐待など家庭内における暴力の早期発見、被害者の保護に努めます	事業名	児童虐待防止の推進	16,446	A ・要保護児童の虐待防止・支援に対し、性別の違いにより生じる課題などを協議会関係機関の代表者・構成員にかかわらず男女の意見を聞いた。 ・会議招集にあたり、男女のバランス、プライバシーの保護について留意した。 ・参集者及び会議内容の記録を作成し管理を行った。	児童虐待、養育支援において、性別の違いにより生じる課題の対応は困難なケースが多く、会議招集時には、より一層の男女の視点による意見が必要である。
	時期	通年			
	対象	市民			
	要保護児童対策地域協議会 ・代表者会議 年1回開催(7月) ・実務者会議 年12回開催(毎月) ・個別ケース検討会議開催(65回) 男女の構成員で成立。関係機関と連携しながら児童虐待防止及び要保護児童の支援に努めた。また、男女の視点で意見交換・支援の方向性の話し合いを行った。				
72 被害者の自立を支援します	事業名	被害者の自立支援と関係相談機関との連携強化	1,872	A ・被害者に対し、男性とは異なる女性ならではの問題を被害者に配慮した相談窓口について関係機関と連携の上、周知をした。 ・家庭児童相談員が相談室において、相談面接に応じるなど、女性が相談しやすい環境に配慮した。 ・個々の相談記録を把握管理している。	DV被害者は、経済的な問題、児童の問題など様々な問題を抱えている場合が多く、緊急時の一時保護を含め、自立に向けた切れ目のない支援をするため、関係機関との役割を明確化した体制整備が必要である。
	時期	通年			
	対象	市民			
	通告などを通じて、随時警察と連携協力をしている。 「市町村向け女性相談対応マニュアル」に従い、関係機関と連携を取りながら被害者の自立支援に努めた。 ■相談人数 5人 (男0人、女5人) ※H29年2月末現在				

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	3	女性に対するあらゆる暴力の根絶
施策	3	相談体制の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
73 相談窓口を設置し、関係機関や関係団体の相談窓口を周知します	事業名	各種相談窓口の開設と周知	0	B ・「女性の人権ホットライン」強化週間(11/14～11/20)を広報つばめで周知した。	相談内容の詳細は秘密事項となっており、男女共同参画に関する相談数の把握ができない。
	時期	随時			
73 相談窓口を設置し、関係機関や関係団体の相談窓口を周知します	対象	市民	131	A ・男性とは異なる女性ならではの問題を相談できる窓口を設置した。 ・女性相談員を配置し、女性が相談しやすい環境を整えた。中が見えないように会場設営に配慮した。 ・年代別の相談項目などを把握している。	相談窓口の周知が必要である。
	事業名	女性のための総合相談窓口			
73 相談窓口を設置し、関係機関や関係団体の相談窓口を周知します	時期	毎月第3火曜日	131	A ・男性とは異なる女性ならではの問題を相談できる窓口を設置した。 ・女性相談員を配置し、女性が相談しやすい環境を整えた。中が見えないように会場設営に配慮した。 ・年代別の相談項目などを把握している。	相談窓口の周知が必要である。
	対象	女性			
	女性を対象に、月1回「女性のための総合相談窓口」を開設し、女性の抱える様々な問題の相談業務をNPO法人「女のスペース・にいがた」の専門相談員を配置し、相談事業を実施している。事業周知については、市広報紙に掲載する他、公共施設にチラシを配布する。 ■相談件数 延べ17件(4月～2月)				

基本目標	3	ともに暮らす 男女共同参画の環境づくり
方針	3	女性に対するあらゆる暴力の根絶
施策	3	相談体制の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	内容	事業費	評価ポイント			
73 相談窓口を設置し、関係機関や関係団体の相談窓口を周知します	事業名	DV・児童虐待等児童の福祉に関する相談	16,446	A ・被害者に対し、男性とは異なる女性ならではの問題を被害者に配慮した相談窓口について関係機関と連携の上、周知・対応をした。 ・家庭児童相談員が相談室において、相談面接に応じるなど、女性が相談しやすい環境に配慮した。 ・個々の相談記録を把握管理している。	DV被害者も児童虐待相談も、同じ様な問題をかかえている場合が多く、緊急時の一時保護を含め、被害者の自立や要保護児童には、切れ目のない支援が必要のため、関係機関との役割を明確化した体制整備が必要。	社会福祉課
	時期 対象	通年 市民				
	市役所(社会福祉課)内に家庭児童相談員による相談窓口・児童虐待等相談ダイヤルを設置した。 ・DVについては、「市町村向け女性相談対応マニュアル」に従い、関係機関と連携をとりながら、被害者の心情に配慮し対応した。 ・児童虐待については、誰でも気軽に通告・相談ができるよう保育園・幼稚園・関係機関へポスター・チラシを配布し啓発に努めた。					
74 【再掲】セクシュアル・ハラスメントの相談窓口を周知します	事業名	セクシュアル・ハラスメントの相談窓口の周知	0	B ・リーフレット等により周知啓発に努めた。	関係機関等との連携を深め、効果的な周知啓発方法を検討する必要がある。	商工振興課
	時期 対象	随時 市内事業所				
	新潟労働局や県労政雇用課から送付されてきたポスターやリーフレット等を市関係各所窓口に設置したり、広報掲載することによって、企業や市民への周知に努めた。					

		計画の総合的な推進
施策	1	推進体制の充実

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課						
	内容	事業費	評価ポイント								
75 男女共同参画推進会議を開催し、男女共同参画の施策を総合的かつ効果的に推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>男女共同参画推進会議の開催</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>5月、7月</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>推進会議委員</td> </tr> </table> <p>・「第3次燕市男女共同参画推進プラン」の策定に向けて素案を審議した。</p>	事業名	男女共同参画推進会議の開催	時期	5月、7月	対象	推進会議委員	0	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次推進プラン策定にあたり、庁内推進員と推進会議の委員を対象に職員研修を実施して、意識を高めた。 ・条例及び第2次推進プランに基づく施策の推進による現状と課題を踏まえて、庁内推進員が検討した、第3次推進プラン素案を審議した。 ・男女共同参画に関する意識調査の結果を踏まえて、第3次推進プランの現状と課題及び施策を審議した。 	庁内で課題を共有することで、市政における男女共同参画を推進する。	地域振興課
事業名	男女共同参画推進会議の開催										
時期	5月、7月										
対象	推進会議委員										
76 男女共同参画推進審議会を開催し、男女共同参画の推進に関する意見や助言をいただきます	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>男女共同参画推進審議会の開催</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>7月・9月・10月・2月</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>審議会委員</td> </tr> </table> <p>・「第3次燕市男女共同参画推進プラン」の策定に向けて、素案を審議していただいた。</p> <p>・第2次推進プランの推進状況と実施事業を報告し、男女共同参画推進について、委員から意見や提言をいただく。</p>	事業名	男女共同参画推進審議会の開催	時期	7月・9月・10月・2月	対象	審議会委員	225	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員は男性5人、女性5人で構成し、男女双方の意見を聞く機会を設けている。 ・男女双方が意見を述べるができるよう会議の運営に配慮している。 ・意見提言をいただくことで男女共同参画を推進するための課題を把握することができる。 	様々な立場から意見を頂き、男女共同参画を推進していく。	地域振興課
事業名	男女共同参画推進審議会の開催										
時期	7月・9月・10月・2月										
対象	審議会委員										

		計画の総合的な推進				
施策	2	市民、事業所、各種団体、関係機関との連携協力				
					事業費:単位 千円	
具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	内容	事業費	評価ポイント			
77 市民、事業所、各種団体との連携や協力、情報交換などを行います	事業名	つばめ「女と男」ふれ愛フェスタ	300	B ・実行委員会では男女が委員になり、フェスタの企画運営を行った。 ・実行委員への意識啓発につながる。	フェスタの企画運営を通して、実行委員の意識啓発を図り、男女共同参画を推進する。	地域振興課
	時期	11月27日				
	対象	市民				
	市民参加の実行委員会と燕・弥彦PTA連絡協議会と共催でふれ愛フェスタを開催。					
77 市民、事業所、各種団体との連携や協力、情報交換などを行います	事業名	女性が輝くつばめプロジェクト推進事業	60	A ・働く女性の立場から、女子会トークのテーマ、スキルアップ講座の企画を検討した。 ・女性が活躍できる環境をつくるために、男性や事業者の理解について検討した。 ・女子会トーク等の参加者アンケート結果などから、女性の活躍に必要な取組を検討している。	燕市で働く女性の現状を把握し、女性が活躍できる環境づくり等について検討する。	地域振興課
	時期	4月、9月				
	対象	活動☆つばめこまち応援隊（女性の活用創造プロジェクトチーム）				
	・仕事と生活の両立ができる働きやすい環境を検討し、女性が活躍できる環境づくりを提言する。28年4月始動、任期3年。 ・女子会トークやスキルアップ講座の企画を検討し、講座等参加者アンケートなどから、女性が活躍するための取り組み等について検討した。 ■メンバー:9人(市内在勤女性6人、市職員3人)					
78 国や県等関係機関、他市町村との連携や協力、情報交換など行います	事業名	(公財)新潟県女性財団との連携・協力	57	B ・財団と協力することにより男女共同参画の視点で事業を企画できる。 ・財団主催のセミナー等に職員が参加することにより職員への啓発につながる。	財団と連携、協力し、固定的性別役割分担意識の解消や男女共同参画について啓発する。	地域振興課
	時期	通年				
	対象	市民・職員				
	・(公財)新潟県女性財団と共催で地域セミナーを開催。 ・財団が主催するセミナーや研修に、受講を希望する職員の参加。					

		計画の総合的な推進
施策	3	市役所内における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	内容	事業費	評価ポイント			
79 女性職員の 登用を推進 します	事業名	男女共同参画職 場の推進	600	A ・人事異動のための 自己申告書を全職員 から提出してもらっ た。 ・計画的に管理職に 登用していくため、ま ずは監督職として登 用し、管理職に必要 な意識や能力を育成 するよう努めている。 ・自己申告書により昇 任意欲などを把握し ている。 ・女性職員の配置が 少なかった部署へ女 性職員を配置し、活 躍できるフィールドの 拡大に努めている。	女性職員は男性に比 べて管理職登用に消 極的な傾向があるた め、引き続き、政策形 成能力育成など、 キャリア教育の充実 を図るとともに、事業 提案や会議等の場に 積極的に参画させる などの取り組みが必 要である。	総務課
	時 期	随時				
	対 象	職員				
	職員の人事異動にあつては、経験や能力を見極め、できる範囲において、女性職員を活かせる人員配置に努める。					
79 女性職員の 登用を推進 します	事業名	ポジティブ・ア クション導入の 検討	600	A ・女性活躍推進の理 解を深めてもらうた め、男性向けの講座 や研修会を新たに企 画した。 ・管理監督職への女 性の登用を積極的 に行った。 ・研修後のアンケート を実施し、受講者の 要望や意見を把握 し、研修企画に反映 した。 ・女性職員の配置が 少なかった部署へ計 画的に女性を配置し た。	女性職員は男性に比 べて管理職登用に消 極的な傾向があるた め、引き続き、政策形 成能力育成など、 キャリア教育の充実 を図るとともに、事業 提案や会議等の場に 積極的に参画させる などの取り組みが必 要である。	総務課
	時 期	随時				
	対 象	職員				
	職員研修については、女性職員の積極的な登用を進めていくため、女性職員の意識改革とスキルアップを図る研修を実施した。 また、今年度は女性活躍推進を男性に理解してもらうための講座や研修会を新たに実施した。 ■参加人数 約106人 (男 69人・女37人)					

		計画の総合的な推進
施策	3	市役所内における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課						
	内容	事業費	評価ポイント								
79 女性職員の登用を推進します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>女性職員を対象とした研修会の充実</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>職員</td> </tr> </table> <p>1.外部講師を招き、以下の女性職員向け研修を実施した(いずれも民間企業等との合同) ①女子会トーク(ロールモデルを囲んでの座談会) ■参加職員 3人 ②女性スキルアップ講座(アサーティブコミュニケーション) ■参加職員 14人 2.政策立案型研修へ女性職員の参加を積極的に行った。 ①市町村アカデミーリーダー研修 ■参加職員 1人 ②新潟県政策形成研修 ■参加職員 1人 ③市役所長善館 ■参加職員 6人 ④データ分析研修 ■参加職員 10人(2月実施予定の研修は含まず) ⑤始動力養成研修 ■参加職員 2人</p>	事業名	女性職員を対象とした研修会の充実	時期	随時	対象	職員	600	A ・これからの自治体運営に不可欠な政策形成能力醸成のため、引き続き、政策形成能力育成など、研修に女性の参加を促した。 ・女性リーダーモデルとなる講師等を招き、実際に活躍する女性の視点を取り入れた研修とした。 ・女性向け研修実施後のアンケートや職員の自己申告書などを参考に、ニーズを把握した。	女性職員は男性に比べて管理職登用に消極的な傾向があるため、引き続き、政策形成能力育成など、キャリア教育の充実を図るとともに、事業提案や会議等の場に積極的に参画させるなどの取り組みが必要である。	総務課
事業名	女性職員を対象とした研修会の充実										
時期	随時										
対象	職員										
80 職員を対象にした男女共同参画についての研修を実施します	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>職員研修会開催</td> </tr> <tr> <td>時期</td> <td>5月</td> </tr> <tr> <td>対象</td> <td>男女共同参画庁内推進員、推進会議委員</td> </tr> </table> <p>「第3次燕市男女共同参画推進プラン」の策定に向けて、外部講師を招き研修会を開催した。 テーマ:男女共同参画計画の改定と進捗管理 講師:芝浦工業大学教育イノベーション推進センター 男女共同参画推進室 教授 内藤 和美さん ■参加人数 30人(庁内推進員13人、推進会議委員17人)</p>	事業名	職員研修会開催	時期	5月	対象	男女共同参画庁内推進員、推進会議委員	57	A ・庁内推進員と推進会議委員を受講対象とした。 ・男女共同参画社会の行政課題と推進プランの進捗管理について研修を実施した。 ・アンケートを実施し、男女共同参画についての理解度を把握した。	市職員が男女共同参画の視点に立った事業を企画・実施するため、計画的に研修を実施する。	地域振興課
事業名	職員研修会開催										
時期	5月										
対象	男女共同参画庁内推進員、推進会議委員										

		計画の総合的な推進
施策	3	市役所内における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課	
	内容	事業費	評価ポイント			
81 セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントの防止と相談体制の充実に努めます	事業名	セクハラ・パワハラ の防止研修会の開催と相談 窓口の周知	192	B ・研修受講対象者の 半数が女性となるよ う設定した。 ・研修会講師を女性 とすることにより、女 性の視点を取り入れ た内容とした。	女性登用を計画的に 進めるため、また男 女がともに働きやす い職場環境とするた め、継続的に研修を 実施する。	総務課
	時期 対象	11月7日 主任～副参事級 の職員				
	・外部講師を招き、午前1 回・午後1回の計2回の研 修を実施し、54人の職員 が受講した。 ・ハラスメントの相談窓口 周知は4月に実施した。 ■参加人数 54人 (男24人・女30人)					
82 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)の 実現に努めます	事業名	ノー残業デーの 徹底	0	B ・男女ともに、家庭生 活と仕事との balan スが取れるよう、時間 外勤務の縮減を目的 としている。 ・やむを得ず木曜日 に残業をする場合 は、所属長を通じて 業務内容や時間外勤 務命令時間などを報 告してもらっている。	職員一人ひとりが、 仕事の有効性や効率 性を検証して業務改 善に取り組むととも に、仕事の進め方や 時間の使い方の見直 しのほか、職員相互 の情報共有や仕事の 見える化など工夫し ていく必要がある。	総務課
	時期 対象	毎週木曜日 職員				
	毎週木曜日を「ノー残業 デー」とし、終業時に庁内 放送で、職員に退庁を促 した。 また、残務整理等で庁舎 に残っている職員へ「残業 パトロール」を実施した。					

		計画の総合的な推進
施策	3	市役所内における男女共同参画の推進

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	内容	事業費	評価ポイント		
83 男性職員の 育児・介護 休暇、看護 休暇の取得 を推進しま す	事業名	男性職員の育 児・介護休暇、 看護休暇取得の 推進	0	B ・実際に育児休業を 取得した人の体験談 を庁内LANに掲載し た。休暇制度等につ いても繰り返し情報 提供を行った。	総務課
	時期 対象	随時 男性職員			
	<ul style="list-style-type: none"> ・育児休業取得者 平成28年11月末現在 男性0人 女性20人 ・介護休暇取得者 平成28年11月末現在 男性20人 女性0人 ・看護休暇取得者 平成28年11月末現在 男性15人 女性29人 ※いずれも延人数 ・男性職員の育児休業・ 育児に関する休暇制度に ついて職員に理解を深め てもらうため、庁内LANで 情報提供をした。 				

		計画の総合的な推進
施策	4	計画の推進状況の調査と公表

事業費:単位 千円

具体的事業	28年度実施状況			男女共同参画について 問題点及び今後の課題	担当課
	事業名	内容	事業費		
84 計画の推進状況を把握するため、関係課への調査を実施し、その主な結果を市民に公表します	事業名	推進状況の調査と公表	0	B ・調査により実施状況を振り返り、翌年に向けて課題等を考えることにより職員への啓発になる。 ・公表することにより市民への啓発につながる。	男女共同参画推進プランの進捗状況を評価し公表することにより、男女共同参画社会の実現を目指す。
	時期	3月			
	対象	職員・市民			
	平成28年度の推進状況について1月に調査を行い、後日ホームページで公開する。				